

## 三井住友海上の自動車保険「見守るクルマの保険（プレミアム ドラレコ型）」に 当社製通信型ドライブレコーダーを供給

株式会社JVCケンウッドは、MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（以下、「三井住友海上」）が、2022年1月始期契約より販売を開始する自動車保険「見守るクルマの保険（プレミアム ドラレコ型）」に当社製通信型ドライブレコーダーを供給します。

### 1. 通信型ドライブレコーダーの概要

当社は、三井住友海上が2019年1月以降始期契約から販売を開始した“DX Valueシリーズ”の第1弾商品となる「見守るクルマの保険（ドラレコ型）」に通信型ドライブレコーダーを供給し、当社ならではの高画質な録画機能やLTE回線を用いた通信機能などにより、市場から高い評価を得ています。

このたび、同社が「見守るクルマの保険（ドラレコ型）」の機能・サービスを大幅に向上させた「見守るクルマの保険（プレミアム ドラレコ型）」を販売開始するにあたり、当社は新開発した機能を追加し、お客さまにより一層の付加価値の提供を目指して、新たな通信型ドライブレコーダーを供給します。



通信型ドライブレコーダー  
※イメージ

追加開発機能	概要
360°撮影	本体を2カメラ一体型とすることで、業界初 <sup>※</sup> となる360度撮影に対応。車両の側方・後方も撮影できるだけでなく、インカメラでわき見運転等を検知し、アラート機能でドライバーの安全運転も支援します。
駐車監視機能	業界最長クラス <sup>※</sup> の長時間の駐車監視機能を搭載しており、駐車中に当て逃げや盗難等の衝撃を検知した場合に映像を記録。長時間にわたって駐車中の愛車を守りたいニーズにお応えします。
いつでも通報可能	ドライブレコーダー本体の緊急通報ボタンを押すことで、いつでも三井住友海上のオペレータと通話が可能。軽微な事故、故障、あおり運転等の危険運転遭遇時にも連絡が可能です。
ドライブレコーダー本体の車外利用	業界初 <sup>※</sup> となる「ドライブレコーダー本体の車外利用」を実現。ドライブレコーダー本体を取り外して、車外での利用を可能とし、事故など有事の際に安全な場所からコールセンターと通話できます。

※自動車保険業界向のドライブレコーダーとして（2021年6月24日現在、当社調べ）

### 2. 今後の取り組み

昨今、自動車ユーザーの安心・安全への意識の高まりや、ドライブレコーダーによる録画映像がテレビ報道等で放映されるケースが増加していることで、ドライブレコーダーの普及は急速に進んでいます。このような中で当社は、長年培ってきた映像・光学技術と車載技術の融合により、ドライブレコーダーには欠かせない高機能・高信頼性・高画質録画を実現し、国内市販市場において業界トップクラスのシェアを獲得しています。また、OEM市場においても、市販市場での高評価や高い商品力を生かして、多くの大手日系自動車メーカーに採用いただいています。

2021年5月に策定した新たな中期経営計画「VISION2023」では、このたびの三井住友海上との協業に代表される「通信型ドライブレコーダーを活用したテレマティクスサービス事業」を当社の今後の成長を支える事業の一つに位置付けており、将来的には「IoTプラットフォーム事業」としてデータサービスビジネスへと事業領域の拡張を推進しています。

今後も当社は、より安心・安全なモビリティライフに寄与するソリューションサービスの提供を図るとともに、SDGs達成に向け、交通事故の削減、渋滞の緩和、環境負荷の低減等の社会的課題を解決する企業への変革を目指します。